

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肺癌手術後のリハビリテーション進行とリハビリテーションを阻害する因子の関連性の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2021年4月1日から2022年3月31日までに、昭和大学横浜市北部病院呼吸器外科において肺癌手術を行った患者さん

### 2. 研究目的・方法

肺癌の手術後にできるだけ早くリハビリテーションを開始するためには、手術後の全身状態の管理が重要になります。手術後は集中治療室で気管挿管により人工呼吸器が装着されます。なんらかの合併症が生じて人工呼吸器に装着されている時間が長くなると、リハビリテーションの進行が遅れてしまうことがあります。しかし当院の心臓血管外科で手術を行った患者さんの人工呼吸器が装着されている時間と手術後のリハビリテーションの進行との関係は明らかになっていません。

そこで本研究は心臓血管外科で手術を行った患者さんの術後1日目のリハビリテーションが実施できているかどうか、また実施できていない場合はどのような事が阻害しているのかを調査し、手術後のリハビリテーションをより安全に進行するための方法を検討することを目的としています。

昭和大学横浜市北部病院に入院された患者さんのデータを利用します。2021年4月1日から2022年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院呼吸器外科において肺癌手術を行った患者さんのデータから、患者背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、診断病名、手術名、現病歴、既往歴）、循環機能に関する情報（心臓超音波検査値）、呼吸機能に関する情報（呼吸機能検査値）、手術に関する情報（手術時間、麻酔時間、人工呼吸器挿管時間、術中のIN-OUTバランス、輸血の有無）、術後合併症の有無、術後管理に関する情報（酸素投与期間、硬膜外麻酔期間、胸腔ドレーン挿入期間、リハビリテーション進行に関する情報（術後1日目の離床状況、端坐位開始日、立位開始日、歩行開始日、階段昇降開始日、転帰）、術後在院日数、術後リハビリテーション進行を阻害する要因とリハビリテーション進行との関連を調査項目とします。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通

知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2023 年 3 月 31 日まで。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、診断病名、手術名、現病歴、既往歴）、循環機能に関する情報（心臓超音波検査値）、呼吸機能に関する情報（呼吸機能検査値）、手術に関する情報（手術時間、麻酔時間、人工呼吸器挿管時間、術中の IN-OUT バランス、輸血の有無）、術後合併症の有無、術後管理に関する情報（酸素投与期間、硬膜外麻酔期間、胸腔ドレーン挿入期間、リハビリテーション進行に関する情報（術後 1 日目の離床状況、端坐位開始日、立位開始日、歩行開始日、階段昇降開始日、転帰）、術後在院日数、術後リハビリテーション進行を阻害する要因とリハビリテーション進行との関連を調査項目とします。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。また、診療録情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学保健医療学部理学療法学科、昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室

氏名：磯邊 崇

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000（代） 内線：7429

研究責任者：磯邊 崇（昭和大学保健医療学部理学療法学科、昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室、理学療法士）